

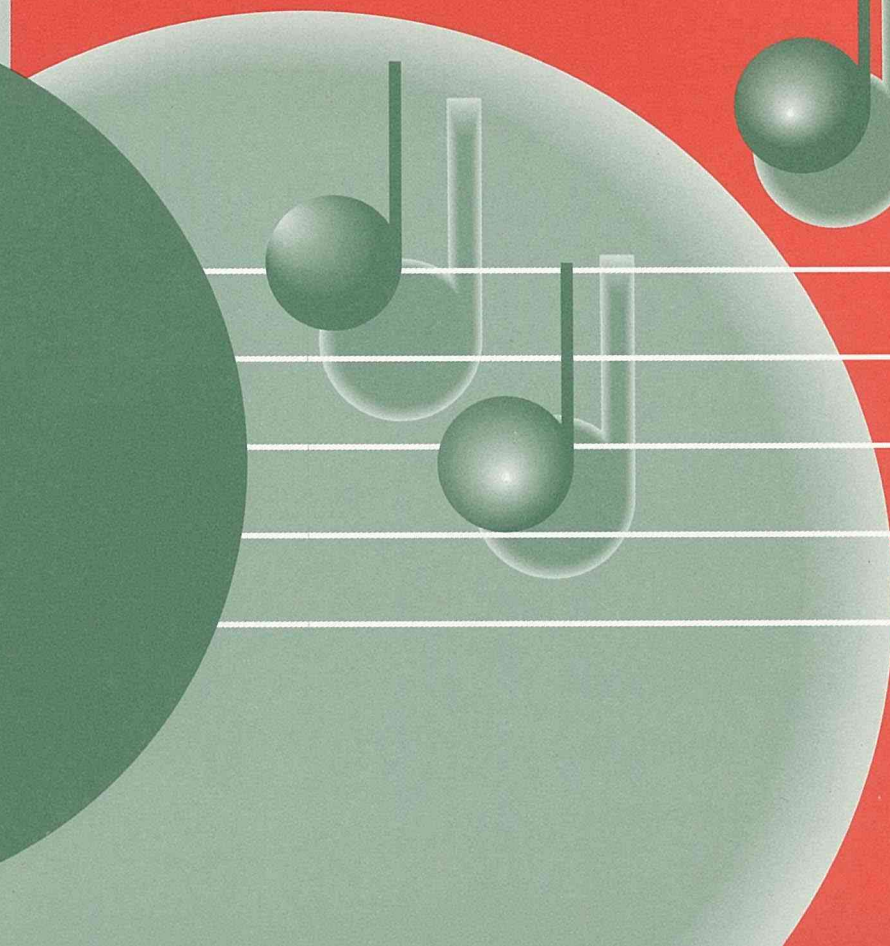
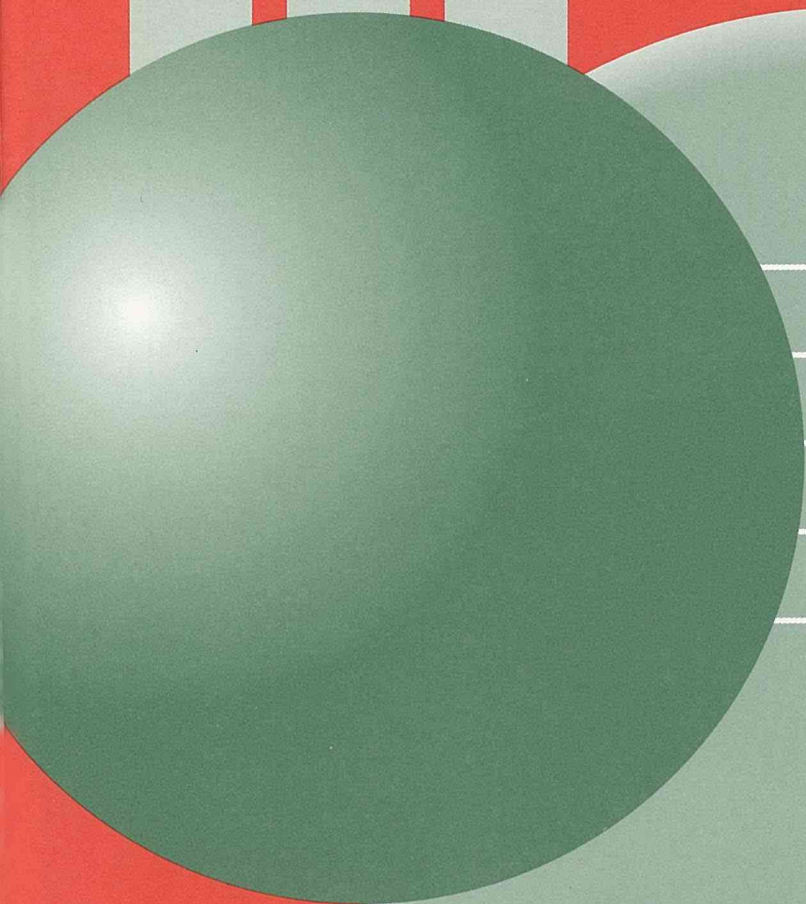
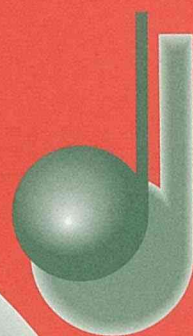
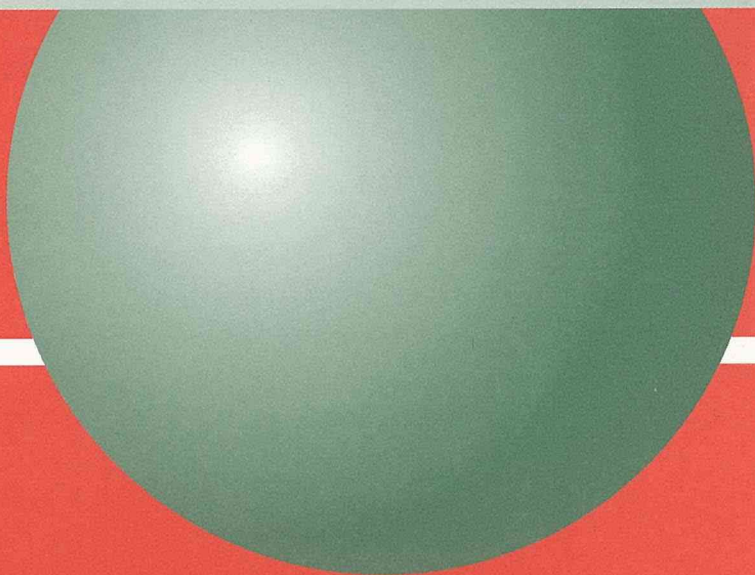
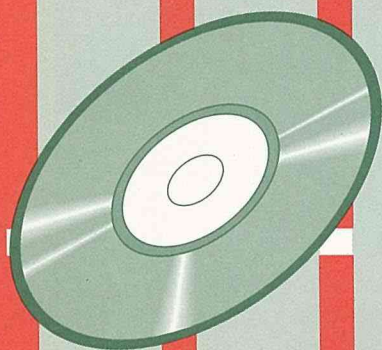
THE RECORD

RIAJ 社団法人 日本レコード協会

- 著作物の再販撤廃に反対する総決起集会開催
- レコード寄贈実施
- カラオケマスコミ懇談会、福岡・広島で開催
- 統計資料—人口の将来動向とレコード購入者率

1997.12

No.457



著作物の再販撤廃に反対する総決起集会開催



決意表明をする高野レコード協会長と壇上に並んだJASRAC加戸理事長、FCA中田会長、芸団協小泉副会長、日レ商組矢島理事長、卸同業界飯原会長ら



著作物の関連業界団体で構成する「著作物の再販維持懇談会」（再販懇）は、12月中旬に予定されている行政改革委員会規制緩和小委員会の著作物再販制度に関する報告書作成が進められている中、11月17日東京日比谷公会堂にて、「著作物の再販撤廃に反対する総決起集会」を開催しました。

当日は、関連業界団体や市民団体からの出席者で、収容人数の2,000人に対して、会場がほぼ満杯になるほどの参加がありました。

集会は、青津ナナ子アナウンサーの司会で進行、由紀さおり・安田祥子姉妹のミニコンサートで幕を開けました。

また、コンサート終了後の、本会では、壇上に再販懇参加団体の代表者が揃い、日本新聞協会・日本書籍出版協会・日本レコード協会（音楽文化懇談会代表）関係団体代表からの決意表明に続いて、森田健作文部政務次官の挨拶がありました。

引き続き各政党から参加した党首クラスの方々が、文化の重要性を含めた著作物の再販制度維持への支持を述べられました（参加者文末参照）。

一方、文化人代表として演壇に立った日本ペンクラブ副会長の井上ひさし氏は、冒頭の懐かしい名曲で綴られたコンサートを例に話を進め、再販撤廃には同会としても断固反対であるとの表明を行いました。

この後女優の大原穠子氏が集会決議を読み上げ、内容について満場一致で採択されました（本文は5ページに掲載）。

そして日本音楽著作権協会（JASRAC）の遠藤会長の挨拶で閉めくられ総決起集会を終了しました。

尚、当日採択された集会決議は、11月20日付で行革委規制緩和と小委、公正取引委員会他関係方面に提出しました。

レコード・音楽CDの再販撤廃に反対する「決意表明」

行政改革委員会規制緩和と小委員会及び公正取引委員会の研究会において検討されている著作物再販制度の撤廃については、以下の通り、わが国の音楽文化の発展を著しく阻害し、いわゆる消費者利益に大きく反することから、強くこれに反対する。

1. 著作物再販制度の撤廃は、レコード市場における価格競争を熾烈化し、わが国の伝統芸能やクラシックなど文化的に価値の高い音楽や、学校教材として不可欠な音楽の発売を困難にする。
 2. 著作物再販制度の撤廃は、レコード商品の制作・発売において、売れ筋商品だけに力が注がれることから、幅広い新譜制作の活動を阻害し、可能性を秘めた新人作家やアーティストの育成・輩出を困難にする。
 3. 著作物再販制度の撤廃は、都市部と比べて地方の消費者にサービス低下や割高な商品購入を強いることとなり、音楽文化の面で地域格差を生じさせる。
 4. 著作物再販制度の撤廃は、レコードや音楽CDなどによる貴重な音楽芸能財産の保存や後世への伝承を困難にし、わが国音楽文化の衰退や荒廃を招く。
- 以上、著作物再販制度の撤廃は、文化・芸術の豊かな発展を妨げ、また人々の精神生活に深く関わっているレコードや音楽CDなどの多様性の確保を不可能にする。

よって、著作物再販制度の撤廃に強く反対する。

音楽文化懇談会 代表幹事
社団法人日本レコード協会 会長
高野 宏

再販関係

著作物の再販撤廃に反対する総決起集会

文部省・文化庁・国会議員出席者一覧表(敬称略)

文部政務次官 森田 健作
文化庁長官 林田 英樹

自由民主党 党広報本部長	与謝野 馨
社会民主党 党首	土井 たか子
新党さきがけ 党議員団座長	堂本 暁子
新進党 党国対委員長	中野 寛成
民主党 副代表	鳩山 邦夫
民主党 (衆)文教委員	肥田美代子
日本共産党 幹部会委員長	不破 哲三
太陽党 党首	羽田 孜

行政改革委員会に再販に関する 緊急要望書提出

再販問題が緊迫してきた中、日本新聞協会、日本書籍出版協会、日本雑誌協会及び当協会は、代表者連名で10月31日に「著作物の再販制度見直しに関する要望書」を、行政改革委員会委員長、同規制緩和小委員会小委員長、同座長、並びに、行政改革委員会事務局長宛に提出しました。また、11月6日には「音楽文化懇談会」が、「音楽用CD等の再販制度見直しに関する緊急要望書」をそれぞれに提出し、著作物の再販制度撤廃に強く反対する意志表示を行いました。

音楽議員連盟緊急役員会と 業界代表の懇談会開催

著作物再販制の問題を課題とする音楽議員連盟(櫻内義雄会長、自民)の緊急役員会が、11月21日(金)午前8時よりキャピトル東急ホテル「京都の間」にお

いて行われました。

当日は、まず音楽議員連盟(音議連)側が前半の30分、行政改革委員会の田中一昭事務局長らを招いて、現在までの状況の説明を受けました。(業界代表は参加せず)席上、音議連役員からは行革委側に、多くの質問が出されるとともに、音議連としては、再販制の存続を支持する旨の考えが示されました。

その後行革委側は退席し、8時30分からは、業界の代表が参加して意見交換を行いました。業界代表は、規制緩和小委員会や公取委の規制研とのこれまでのやり取りなどを説明するとともに、音楽著作物の特性やその中での再販制の必要性、とりわけ音楽を始めとした文化問題が、これからの日本にとって如何に重要かを強調し、一層の理解と支援を求めました。

更に同議員連盟は、12月2日(火)午前11時から衆議院第2議員会館第3会議室において臨時総会を開き、音楽CD等の再販制度撤廃に反対する「特別決議」を採択しました。

なお「特別決議」は4日、音議連今井事務局長(自民)らが、直接公取委、行革委を訪ね、それぞれ根来委員長、田中事務局長に手渡されるした。



音楽文化振興議員懇談会緊急集会開催

自民党国会議員64人で構成される「音楽文化振興議員懇談会」(島村宜伸会長)は、11月27日(木)12時より、自民党本部において、標記緊急集会を開催し、業界代表との活発な意見交換の後、再販制撤廃に反対する緊急アピールを採択しました。

第35回福祉・厚生施設へのレコード寄贈実施

当協会では本年も全国の福祉・厚生施設にレコード合計1万枚・巻（コンパクトディスク、カセットテープ）を寄贈しました。

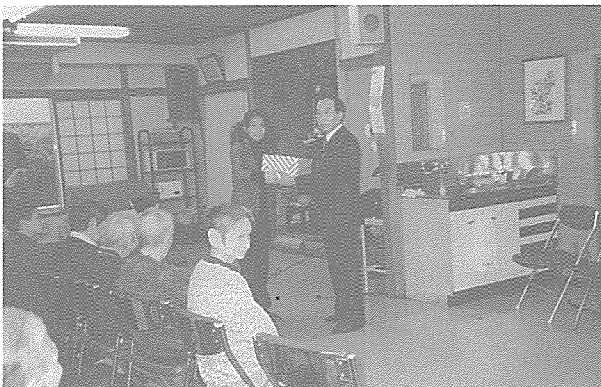
これは、各施設の人たちにより広く、多くの音楽を聴いていただき、生活にうるおいをもつていただくことを願って、昭和38年からアナログディスク寄贈を始め、58年からはカセットテープ、平成5年からはコンパクトディスクとカセットテープを寄贈し続けているもので、今回で35回目となります。

本年度寄贈事業は、全国500か所の児童保育施設、心身障害者施設、老人ホーム等に、レコード会社の本社及び営業所・支店所在地の施設の内、1か所へは直接訪問して寄贈し、その他は（財）日本民生文化協会を通じて行いました。

また東京地区は、11月6日（木）に、江東区のおそか園（特別養護老人）にて行われました。当日はワーナーミュージック・ジャパン社専属の石井明美さんが、東京十日会（メーカー会）、日本レコード商業組合東京支部、当協会の関係者と共に訪問し、代表の方にCD・音楽テープを手渡しました。石井さんからはレパートリーから1曲の歌唱があり、寄贈に花を添えました。

尚、地域別の寄贈施設数及びこれまでの全寄贈数は以下の通りです。

- ・北海道（8）、東北（56）、北関東（69）、東京（42）、南関東（21）、中部（26）、北陸（27）、近畿（72）、四国（41）、中国（55）、九州（81）、沖縄（2）
- ・レコード寄贈数 — 718,000枚（昭和38年～昭和57年）
- ・テープ寄贈数 — 120,000巻（昭和58年～平成8年）
- ・CD寄贈数 — 20,000枚（平成5年～8年）



IFPIアジア太平洋地域理事会執行会議及び中国レコード120年国際シンポジウム開催

11月7日（金）、第一回アジア太平洋地域理事会執行会議が北京で開催され、当協会から千葉常務と武田著作権部員が参加しました。

当日の出席者は、IFPI側からラチャー・ラザフォード議長（EMI）、ニック・ガーネット氏（本部事務総長）、ギャウ氏（アジア地区代表）、モック氏（香港支部）、ハン氏（台湾支部）が出席しました。また、現地のレコードメーカー代表としてノーマン・チェン氏（ポリグラム）、マシュー・アリソン氏（ヴァージンEMI）、リチャード・デネカンブ氏（ソニーエピック）、デヴィッド・ギルクリスト氏（ワーナー）、ロビン・リー氏（台湾ロックレコード）、マイケル・シュメリー氏（BMG）が参加しました。

初日はIFPI理事会が午前8時半から開始され、議長挨拶に続いて前回の第五回地域会議議事録内容の確認とそれから起きる問題について報告がされました。

また中国市場への進出について長時間に亘り、検討が行われました。

続いてガーネット氏からリオデジャネイロでのIFPI総会の報告がされ、加えて議長のラザフォード氏が辞任する件で新議長選出動議があり、マイケル・シュメリー氏（BMG）が新議長に選出されました。

翌11月8・9日には中国レコード120年国際シンポジウムが開催され、IFPI関係者に加えて、中国オーディオビデオ産業協会社長、知的所有権評議会評議員ら中国側から多数の関係者が出席し、太平洋映画音楽会社代表の講演の他、それぞれの立場から現在の問題点・今後の課題などの意見交換などが行われました。



カラオケ対策委員会福岡・広島で 不法ダビング問題について懇談会開催

音楽業界10団体で構成する「カラオケ教室不法録音物対策委員会（略称：カラオケ対策委員会）」は、「不法録音カラオケテープ撲滅キャンペーン」の一環として、去る11月6日に福岡シーホークホテル、同7日に広島リーガロイヤルホテルにおいて「みんなでなくそう不法ダビング IN 福岡／広島」と題する懇談会を開催しました。

同懇談会には、地元の、カラオケ教室関係者、マスコミ、作家の方々など2日間合計で約230名（福岡120名、広島110名）が出席し、カラオケ対策委員会と教室における不法ダビング問題について活発な意見交換がなされました。

木村三郎委員長（当協会専務理事）からは、委員会設立の経緯・目的・活動内容・懇談会開催の目的の説明に加え「カラオケ教室でのレッスン用には、ダビングテープではなく、市販の正規商品を必ずご使用下さい」との協力依頼の挨拶がありました。また、不法ダビング問題と絡めた演歌・歌謡曲を取り巻く現状などを紹介したビデオの上映、ゲストトークとしてJASRACの理事でもありカラオケ指導にも詳しい多数の作詩・作曲家の先生方からも「カラオケ教室における不法ダビングが演歌・歌謡曲衰退の大きな要因のひとつであ

る」ことなどが説明されました。

また、JASRACの遠藤 実会長からは「日本の演歌・歌謡曲は、日本で生まれた歌である。みんなで声を掛け合って、不法ダビングを撲滅して欲しい」との話があり、委員会活動への協力と理解を求めました。

両日とも懇談会の最後には、浜野 美砂（日本クラウン）によるミニライブも行われ、盛況の内に終了しました。

両日のゲストトーク参加者は下記の通りです。

- ・11月6日…遠藤 実氏、市川 昭介氏、鈴木 淳氏、中山 大三郎氏、松井 由利夫氏、三木 たかし氏
- ・11月7日…遠藤 実氏、鈴木 淳氏、中山 大三郎氏、服部 克久氏、星野 哲郎氏、松井 由利夫氏、三木 たかし氏



著作物の再版撤廃に反対する総決起集会・集会決議

「創意で造る新たな日本」著作物の再版制度を守ろう！」

いま、我が国の民主主義、文化を担う著作物の発行と流通が危機にさらされている。

行政改革委員会の規制緩和と小委員会および公正取引委員会の研究会において、著作物の法定再版制撤廃が、具体的弊害や撤廃後のビジョンが示されないまま、推進されようとしている。

新聞、雑誌・書籍、レコード、音楽テープ・CD等は、言論、学術、思想、芸術などの伝達メディアとして、平和で豊かな民主社会を実現するための文化的基盤となる商品である。

これら著作物の公平で効率的な発行と流通は、再版制度によって支えられている。大多数の読者や音楽愛好家は、再版制度のメリットを理解し、その存続を支持している。

北海道をはじめとし、東京・京都・大阪を含む全国100を超える都道府県、市町村において、「著作物再版撤廃反対、再版維持」を要望する議会決議が行われている。

民意は「再版撤廃反対、再版維持」である。

活字文化・音楽文化のメディアは、いずれも個性的、創造的である。いわゆる市場原理による価格競争が、多様性の衰退を招くことは明らかである。価格競争の推進で、質の向上が実現できるものでもない。

再版制の撤廃は、一般商品と著しく異なる特性をもつ著作物の発行と流通に大きな混乱をもたらし、「21世紀に向けて、創意で造る新たな日本」をめざすと標榜する行政改革委員会の基本姿勢に悖るものである。

自由な契約にもとづく著作物の再版制度を撤廃することは、「規制緩和」に名を借りた「規制強化」に他ならない。

われわれは、著作物の再版制度撤廃反対を広く国民に訴える。あわせて、著作・作家・読者・音楽愛好家とともに、再版制度のもとでフェアな競争を通じ、日本の民主主義と文化の発展に貢献することを誓うものである。

右、決議する。

著作物の再版撤廃に反対する総決起集会

その他

カラオケ用 DVDビデオ・ガイドライン制定・発行

当協会技術委員会（委員長・富塚理事）では、「カラオケ用DVDビデオ・ガイドライン」を11月28日付で制定・発行いたしました。発行の経緯・目的は次のとおりです。

DVDビデオの規格は、カラオケの機能として様々な応用が実現でき、多種多様なカラオケ機能付きプレーヤー（ハード）及びカラオケ対応ディスク（ソフト）が考えられるため、消費者の混乱を防止することに主眼を置き、DVDビデオ・カラオケ・ワーキング・グループで検討を行いました。この結果、商品の内容から、カラオケ対応ディスクのタイプを体系化し、商品内容や操作方法についての表示を統一し、ガイドラインとしてまとめ、発行することになったものです。

なお、このガイドラインでは、カラオケ機能付きプレーヤーに対応するカラオケ用DVDビデオの名称を「マルチ音声カラオケ」と統一して用いることにしています。

第46回オーディオ・フェア開催

11月19日から23日の5日間にわたり、東京・豊島区の池袋サンシャインシティ コンベンションセンター TOKYOにて、(社)日本オーディオ協会主催の「第46回オーディオ・フェア'97」が開催されました。

昨年までは10月に開催されていたオーディオ・フェアですが、今年は会期が変わり、「見せます、聴かせます、ガラリーと変わる音と映像」というキャッチフレーズのもとに、73社の新製品・新技術が披露されました。

今回は、DVDビデオを用いたホームシアター提案やMDを中心とした新製品が展示紹介される一方、DVDオーディオやソニーとフィリップス両社によるスーパーオーディオCDなど次世代ピュアオーディオの新フォーマット提案が行われたことも大きな話題を呼び、各試聴会場は詰めかけたオーディオファンで賑わいを見せていました。

なお、5日間の総入場者数は、昨年の約14万人から大幅に増え、18万2,837人にのぼりました。

アジア・ミュージック・フェスティバル・ イン・トウキョウ'97開催

(財)音楽産業・文化振興財団主催、通産省、文化庁、日本自転車振興会、T O K Y O F M後援の「アジア・ミュージック・フェスティバル・イン・トウキョウ'97」が、11月15日(土)に東京都渋谷区のクラブ・クワトロにて開催されました。

今回で6回目となるこのフェスティバルは、音楽によるアジア地域の交流、音楽による振興、著作権思想の普及等、音楽文化・産業の発展と文教・環境その他の公益の増進に寄与することを目的としたものです。

当日参加したアーティストは以下の通りです。

Yukiele (from Thailand)・鈴木 結女・種 ともこ

なお、このフェスティバルの開催は、「競輪公益資金」の補助を受けて実施しました。

(社)音楽出版社協会事務局移転

(社)音楽出版社協会の事務局は、10月27日付で、移転しました。新しい住所及び連絡先は下記の通りです。
記

〒107-0062

東京都港区南青山2-27-25 デイム青山4F

TEL 03-3403-9141 FAX 03-3403-9140

AVT社販売会社を設立

エイベックス・ディー・ディー(株)は、12月1日付で新会社エイベックス・ディストリビューションを設立し、これまでCR社で行っていた販売委託契約を解約し、同社にて行うことになりました。

今月の「Japan-Music.or.jp」レポート

今月は、japan-music.or.jpサイトに新たなコンテンツとして「新譜堂」が加わりました。「新譜堂」は前月も触れましたが、当サイトに立ち寄るユーザーの要望として最も多い新譜情報を提供するものです。日本テレビが毎週月曜日から金曜日までの深夜に、同名番組で紹介している邦楽新譜を、1週間毎に纏めてjapan-music.or.jpサイトで提供しています。内容的には、週のコメントにプロモ

ーションビデオ(動画)と曲を、Real video、Real audioで試聴でき、かなり楽しめるものとなっていますので、是非お試しください。

また、サービス開始後の反応は大変に良好で、本年3月に「第11回GD大賞授賞式」(NHK総合で放映)の授賞の様態と授賞者インタビューを紹介したときに匹敵するヒット数(13万5千ヒット)となりました。

11月13日、国際レコード産業のトップが音楽海賊版問題でアテネに集う

欧州地域の国際メジャー・レコード会社のトップは、ギリシャの音楽海賊版対策を研究するために、アテネで会議を開きました。

同国は、欧州連合の中で海賊版の比率が最も高く、このことは、同国の、文化、新人アーティストへの投資、音楽産業の成功、そして国際的評価に対して脅威を与えています。

しかし、問題は単にギリシャだけの問題でなく、隣接するブルガリアの膨大な違法CD製造産業に対する欧州地域全体の戦いの最前線でもあります。

ブルガリアからの高品質な海賊CDの輸入の増加はギリシャ・アーティストの創造性を奪い、正規のレコード産業の投資を浸食しています。

代表団はメジャー会社の欧州代表とレコード産業の国際的組織であるIFPIから構成されます。また、そこには、欧州議会の議員であるナナ・ムスクーリを含めたギリシャのアーティストも加わります。

代表団は、著作権侵害に対するギリシャ国内の執行力強化とブルガリア海賊版CD産業への圧力強化の必要性にスポットを当てました。

この結果は、欧州議会のナナ・ムスクーリ議員の参加を得た国際メジャー会社の代表によって、11月13日に記者会見で発表されました。

(IFPIプレス 97年11月)

オーストラリア、著作権侵害の罰金増

オーストラリアは著作権侵害に対する罰金を増額し、法制度を合理化しました。

個人による海賊行為に対し55,000豪ドル(約495万円)、侵害会社に対し10%増の275,000豪ドル(約2,475万円)の罰金を科します。また、新法では、著作権者は海賊版であることを立証する必要はなく、輸入業者や頒布者が立証責任を負います。

法廷は、事件の重要性によって罰則を決定するより強い権限を得、税関での手続きも合理化されました。更に、初回の侵害とそれ以降の侵害の区別が撤廃されました。

この罰則の強化は、アジアからの海賊版の攻撃から同国音楽市場を守るための試みです。

政府は、若いアーティストの初演とインターネット市場の潜在性への資金提供という新しい計画を2週間前に発表しました。これは、並行輸入撤廃によって同国のレコード産業の収入が減少し、新しい才能育成の投資を減退させるとの主張への対策です。

並行輸入撤廃に抗議して、コメンテーターで音楽関係の出版事業も行っているトリップ氏は、政府系の通商関係団体の委員を辞めました。同氏は、半年前、技術と通信手段の革新及び海外貿易を通じて音楽の輸出を増加するため、他の委員会メンバーと一線を画する戦略を立てるため、ただ一人音楽産業を代表する委員として指名されていたものです。同氏は以下のように述べています。「我が国の音楽輸出は1985年の500万ドルから1996年の2億2千万ドルに成長した。政府政策は全く意味が無い、輸出の意欲を失わせ、活力ある音楽産業を破壊する。」

(1997.11.22ビルボード)

会議メモ (主なもの)

(11月1日~11月30日)

11・4	再販問題関係合同会議	11・11	再販懇事務連絡会	11・19	洋楽宣伝専門部会
11・5	CDエクストラ表示検討会		同和問題推進連絡会	11・20	洋楽企画専門部会
	再販懇談会	11・12	Q盤企画グループ会議		インターネット部会
11・6	営業部会		著作権部会	11・21	邦楽制作部会/制作者講習会
11・10	著作隣接権審議会新作業部会	11・13	制作技術専門部会	11・25	再販懇事務連絡会
	レコード制作基準倫理委員会		洋楽部会		法制委員会
11・11	ミュージックPOD研究会	11・14	デジタル問題対策会議	11・26	ミュージックPOD研究会
	JASRAC委員会・交渉会議		品質管理専門部会		日本GD大賞幹事会・演出部
		11・17	情報システム幹事会		合同会議
		11・18	ニューメディア技術専門部会		ビデオ部会
			JASRAC委員会	11・27	再販懇代表者会議
			二次使用料委員会	11・28	理事会
		11・19	業務委員会		技術委員会

HIT CHART DATA 1997年10月度(97年9月21日～97年10月20日)

レコード正味売上げに基づく当協会オフィシャルデータ。

順位	タイトル	アーティスト	発売日	発売元
----	------	--------	-----	-----

■邦楽・洋楽合同シングル BEST7

1.	Liar! Liar!	B'z	97.10.8	BM
2.	WHITE LOVE	SPEED	97.10.15	TF
3.	Wanderin' Destiny	globe	97.10.15	AVT
4.	Love is...	河村隆一	97.10.15	V
5.	キャンドル・イン・ザ・ウインド 1997～ダイアナ元英皇太子妃に捧ぐ	エルトン・ジョン	97.9.27	MME
6.	Peace!	SMAP	97.9.26	V
7.	虹	ラルク・アン・シエル	97.10.17	SME

■洋楽シングル BEST7

1.	キャンドル・イン・ザ・ウインド 1997～ダイアナ元英皇太子妃に捧ぐ	エルトン・ジョン	97.9.27	MME
2.	ムーンライト・セレナーデ	シカゴ	97.10.1	BMG
3.	チェンジ・ザ・ワールド	エリック・クラプトン	96.7.25	WJ
4.	ハード・タイムズ・カム・イージー	リッチー・サンボラ	97.9.10	MME
5.	ジェニー・ドント・テイク・ユア・ラブ	ジョン・ボン・ジョヴィ	97.9.26	MME
6.	ホエアズ・ザ・ラヴ	ハンソン	97.9.26	MME
7.	ヒッチ・ア・ライド	グリーン・デイ	97.10.15	WJ

■邦楽・洋楽合同アルバム BEST7

1.	REVIEW～BEST OF GLAY～	GLAY	97.10.1	PO
2.	BEST OF DREAMS COME TRUE	DREAMS COME TRUE	97.10.1	SME
3.	Junior Sweet	Chara	97.9.21	SME
4.	SMLING II～THE BEST OF NORIYUKI MAKIHARA	榎原敬之	97.9.25	WJ
5.	SINGLES COLLECTION+4	FIELD OF VIEW	97.10.8	ZA
6.	LIVE LIVE LIVE TOKYO DOME 1993-1996	X JAPAN	97.10.15	PO
7.	THE END OF EVANGELION	サウンドトラック	97.9.26	K

■クラシックアルバム BEST7

1.	ロマンス	米良美一	97.9.26	K
2.	ブラームス：ピアノ協奏曲第2番変ロ長調op. 83	ポリニー(P)アバド～ベルリン・フィル	97.9.21	PO
3.	エル・タンゴ～ピアノソラへのオマージュ2	ギドン・クレーメル	97.9.10	WJ
4.	エシェゾー	矢部 達哉, 横山幸雄	97.9.21	SME
5.	シューベルト：ピアノ・ソナタ NO.21 他	内田光子(P)	97.9.26	MME
6.	「それを盗んだ!」 オリジナル・サウンド・トラック・クラシック・ヴァージョン	サウンドトラック	97.8.20	TO
7.	母の唄～日本歌曲集	米良美一	97.9.21	K

■洋楽アルバム BEST7

1.	ザ・ヴェルヴェット・ローブ	ジャネット・ジャクソン	97.9.29	TO
2.	ブリッジズ・トゥ・バビロン	ザ・ローリング・ストーンズ	97.9.27	TO
3.	ニムロッド	グリーン・デイ	97.10.10	WJ
4.	バタフライ	マライア・キャリー	97.9.10	SME
5.	ダンスマニア 7	キャプテン・ジャック 他	97.10.16	TO
6.	エヴォリューション	ボーイズIIメン	97.9.20	PO
7.	シンク・ライク・ア・ガール	ダイアナ・キング	97.8.22	SME

※AL：アルファミュージック／AR：アンティノスレコード／AVT：エイベックス・ディーディー／BG：ビーグラムレコーズ／BM：ルームスレコーズ／BME：バンダイ・ミュージックエンタテインメント／BMG：BMGジャパン／C：日本コロムビア／CR：日本クラウン／CT：カットニング・エッジ／EP：ワン・アップ・ミュージック／EW：イーストウエスト・ジャパン／FH：ファンハウス／FL：フォーライフレコード／JE：ジャニーズ・エンタテインメント／K：キングレコード／KT：キティエンタープライズ／ME：メルダック／MME：マーキュリー・ミュージックエンタテインメント／NA：NECアベニュー／PC：ポニーキャニオン／PG：ポリグラム／PI：パイオニアLDC／PO：ポリドール／PS：ポリスター／QT：バルコ／RO：ロッキットレコード／SME：ソニー・ミュージックエンタテインメント／TA：ニュートーラス／TDK：TDKコア／TE：テイチク／TF：トイズ・ファクトリー／TJC：徳間ジャパンコミュニケーションズ／TO：東芝EMI／UV：ユニバーサルビクター／V：ビクターエンタテインメント／VAP：バップ／VF：ヴェルファール／WJ：ワーナーミュージック・ジャパン／XR：ゼロ・コーポレーション／ZA：ヴァインレコーズ

■アルバム (25作品)

【邦 楽】

- 3ミリオン
evergreen/MY LITTLE LOVER/95.12.5 (TF)
REVIEW~BEST OF GLAY~/GLAY/97.10.1 (PO)
- 2ミリオン
POWER OF DREAMS/大黒摩季/97.8.6 (BG)
BEST OF DREAMS COME TRUE/DREAMS COME TRUE/97.10.1 (SME)
- ミリオン
A album/KinKi Kids/97.7.21 (JE)
- ダブル・プラチナ
Junior Sweet/Chara/97.9.21 (SME)
- プラチナ
明日に向かって走れ-月夜の歌-/エレファントカシマシ/97.9.10 (PC)
The Remixes/Every Little Thing/97.9.18 (AVT)
SMILING II ~ THE BEST OF NORIYUKI MAKIHARA/榎原敬之/97.9.25 (WJ)
SINGLES COLLECTION+4/FIELD OF VIEW/97.10.8 (ZA)
- ゴールド
FANTASMA/コーネリアス/97.8.6 (PS)
JUNK LAND/玉置浩二/97.9.21 (SME)
THE END OF EVANGELION/サウンドトラック/97.9.26 (K)
LIVE LIVE LIVE TOKYO DOME 1993-1996/X JAPAN/97.10.15 (PO)

【洋 楽】

- ダブル・プラチナ
ビィ・ヒア・ナウ/オアシス/97.8.21 (SME)
- プラチナ
オディレイ/BECK/96.6.21 (UV)
シンク・ライク・ア・ガール/ダイアナ・キング/97.8.22 (SME)
ブリッジズ・トゥ・バビロン/ザ・ローリング・ストーンズ/97.9.27 (TO)
ザ・ヴェルヴェット・ロープ/ジャネット・ジャクソン/97.9.29 (TO)
- ゴールド
春の歌/ピアノ名曲集/ジョン・オコーナー、マリア・ジョアオ・ピリス 他/96.11.21 (C)
2010 A. D. /C. J. ルイス/97.7.24 (UV)
マイ・ソウル/クーリオ/97.8.22 (SME)
ホモジェニック/ビョーク/97.9.18 (PO)
ニムロッド/グリーン・デイ/97.10.10 (WJ)
ダンスマニア 7/キャプテン・ジャック 他/97.10.16 (TO)

■シングル (21作品)

【邦 楽】

- ミリオン
Glass/河村隆一/97.4.23 (V)
- ダブル・プラチナ
Liar! Liar! /B'z/97.10.8 (BM)
WHITE LOVE/SPEED/97.10.15 (TF)
- プラチナ
珍島物語/天童よしみ/96.2.21 (TE)
もののけ姫/米良美一/97.6.25 (TJC)
今宵の月のように/エレファントカシマシ/97.8.1 (PC)
Shuffle/MY LITTLE LOVER/97.8.20 (TF)
Melly Love/SHAZNA/97.8.27 (BMG)
Peace! /SMAP/97.9.26 (V)
すみれSeptember Love/C' est la vie/SHAZNA/97.10.8 (BMG)
Wanderin' Destiny/globe/97.10.15 (AVT)
Love is.../河村隆一/97.10.15 (V)
風のプリズム/広末涼子/97.10.15 (WJ)
LOVER SOUL/JUDY AND MARY/97.10.15 (SME)
虹/ラルク・アン・シエル/97.10.17 (SME)
- ゴールド
「エキセントリック少年ボウイ」のテーマ/エキセントリック少年ボウイオールスターズ/97.9.25 (EW)
小さな星/好き/Say a Little Prayer/97.10.1 (BF)
PRETTY EYES/hitomi/97.10.1 (AVT)
Love is the Final Liberty/DA PUMP/97.10.1 (AVT)
かわいいひと/ウルフルズ/97.10.8 (TO)

【洋 楽】

- クワドラプル・プラチナ
キャンドル・イン・ザ・ウインド 1997~ダイアナ元英皇太子妃に捧ぐ/エルトン・ジョン/97.9.27 (MME)

レコード生産実績

1997年10月度(97年10月1日～97年10月31日)

1. オーディオディスク

単位：数量：千枚・巻、金額：百万円

	10月実績						1997年(1月～10月)累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
C	邦洋計	15,909	37	109	9,930	19	107	140,997	38	103	88,727	19	103
	邦洋計	209	0	126	83	0	109	1,514	0	51	774	0	48
D	邦洋計	16,119	37	109	10,012	19	107	142,511	38	102	89,501	20	102
	邦洋計	16,883	39	125	28,422	54	124	149,908	40	105	252,095	55	102
D	邦洋計	9,953	23	95	14,327	27	90	78,784	21	92	114,192	25	91
	邦洋計	26,837	62	112	42,750	81	110	228,692	61	100	366,287	80	98
D	邦洋計	32,793	76	117	38,352	73	119	290,905	78	104	340,822	75	102
	邦洋計	10,163	24	95	14,410	27	90	80,299	22	90	114,966	25	90
D	邦洋計	42,956	100	111	52,762	100	109	371,203	100	101	455,788	100	99
	邦洋計	106	0	207	115	0	157	662	0	141	824	0	136
アナログ	邦洋計	2	0	2	2	0	2	175	0	71	247	0	63
	邦洋計	108	0	92	117	0	70	837	0	117	1,071	0	107
合計	邦洋計	32,899	76	117	38,467	73	119	291,567	78	104	341,646	75	102
	邦洋計	10,164	24	95	14,412	27	89	80,474	22	90	115,213	25	90
合計	邦洋計	43,063	100	111	52,879	100	109	372,040	100	101	456,859	100	99

2. オーディオテープ

	10月実績						1997年(1月～10月)累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
カセット	邦洋計	2,142	100	105	2,222	99	101	18,315	99	101	15,787	99	98
	邦洋計	10	0	33	14	1	34	108	1	53	132	1	51
カートリッジ	邦洋計	2,152	100	104	2,236	100	100	18,423	100	101	15,919	100	97
	邦洋計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	邦洋計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	邦洋計	2,142	100	105	2,222	99	101	18,315	99	101	15,787	99	98
合計	邦洋計	10	0	33	14	1	34	108	1	53	132	1	51
	邦洋計	2,152	100	104	2,236	100	100	18,423	100	101	15,919	100	97

3. 複合型CD (CDグラフィックス、CD-I、CD-ROMなど)

	10月実績						1997年(1月～10月)累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
邦洋計	12,517	100	152	2,039	99	80	131,914	100	215	23,257	99	118
邦洋計	6	0	47	23	1	39	104	0	82	306	1	66
合計	12,523	100	152	2,062	100	79	132,019	100	215	23,563	100	117

4. ビデオレコード

	10月実績						1997年(1月～10月)累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
ディスク	1,120	35	99	2,667	27	79	9,105	34	85	24,589	27	78
テープ	2,104	65	86	7,075	73	100	17,849	66	100	65,194	73	104
合計	3,224	100	90	9,742	100	93	26,955	100	95	89,783	100	95

5. オーディオ/ビデオ/AV複合型レコード合計

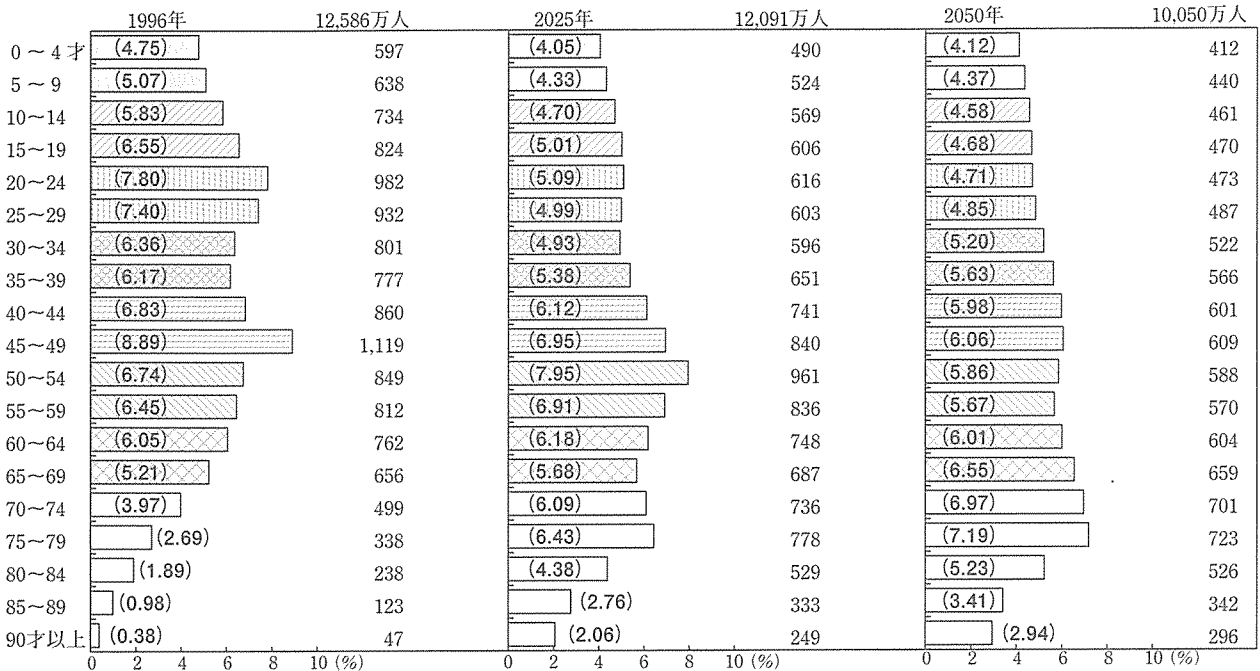
	10月実績						1997年(1月～10月)累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ	45,215	74	110	55,115	82	109	390,463	71	101	472,778	81	99
複合型CD	12,523	21	152	2,062	3	79	132,019	24	215	23,563	4	117
ビデオ	3,224	5	90	9,742	15	93	26,955	5	95	89,783	15	95
合計	60,962	100	115	66,920	100	105	549,436	100	115	586,124	100	99

備考 1. 本年実績は、会員会社「29社」の集計である。当会員社が受託した非会員社からの販売委託分を含む。
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。

人口の将来動向とレコード購入者率

本号は、将来のレコードマーケットを考える基礎となる
 年齢階級別人口の将来動向を総務庁統計局「人口推計資料」
 と国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」
 から、また、年齢階級別のレコード購入者率を日本レコ
 ード協会の調査データを基に紹介します。

図 年齢階級別人口の将来動向



(注) () 内の数値は構成比。

表 年齢階級別・種類別レコード購入者率

単位：％、n=800

		C D シングル	C D アルバム	ミュージック テープ	E P	L P	ビデオ テープ	レーザー ディスク
中学生	1995年	75.0	61.0	4.0	5.0	1.0	8.0	2.0
	1996年	68.0	60.0	4.0	11.0	4.0	11.0	1.0
高校生	1995年	64.0	83.0	3.0	7.0	1.0	12.0	2.0
	1996年	73.0	85.0	5.0	11.0	8.0	18.0	2.0
大学生	1995年	59.0	92.0	3.0	3.0	5.0	20.0	4.0
	1996年	44.0	83.0	2.0	4.0	2.0	18.0	5.0
20代社会人	1995年	50.0	81.0	2.0	4.0	2.0	19.0	4.0
	1996年	54.0	81.0	8.0	1.0	2.0	27.0	6.0
30代	1995年	35.0	56.0	7.0	1.0	1.0	22.0	3.0
	1996年	38.0	54.0	7.0	2.0	1.0	27.0	4.0
40代	1995年	33.0	47.0	17.0	1.0	1.0	11.0	4.0
	1996年	25.0	41.0	13.0	0.0	0.0	17.0	2.0
50代	1995年	20.0	15.0	18.0	1.0	1.0	10.0	5.0
	1996年	14.0	22.0	14.0	2.0	2.0	7.0	2.0
60代	1995年	7.0	9.0	12.0	1.0	2.0	3.0	0.0
	1996年	18.0	22.0	11.0	3.0	1.0	7.0	5.0
全体	1995年	58.6	64.4	56.9	35.4	40.9	38.4	5.9
	1996年	58.1	70.5	55.3	29.9	37.4	47.4	7.1

(注) 購入者率は、各年とも11月の調査時点から遡った1年間にレコードを購入した人の割合

レコード・CDの再販制度は、日本の音楽文化を育てています。

再販制度により、日本では数多くの作品が発売されています。それにより消費者(音楽ファン)には、「商品選択の場」が確保され、また、多くの作家、実演家には幅広いチャンスが与えられるとともに、次代を担う新しい才能が育まれています。

THE RECORD 1997年12月号

発行人 高野 宏

編集人 木村 三郎

発行日 1997年12月10日

発行 社団法人日本レコード協会

〒104 東京都中央区銀座7-16-3
日鐵木挽ビル2F

TEL 03-3541-4411(代)

FAX 03-3541-4460(代)

URL:<http://www.japan-music.or.jp/>